

成分探偵になる方法！

あなたは、自然なものであると保証されて購入したが、後になってラベルに書かれてある成分名の半分も理解できなかったという経験はありませんか？「半自然の」や「由来された」成分について、パンフレットに書いてあるより、もっと多くのことを知りたいと思いませんか？

化学物質等安全性データシート(MSDS)と呼ばれる事業者による原料成分の情報源があります。MSDSとは、対象原料成分を使用する際の、製品情報、危険識別、救急の処置、露出限度と予防措置に関する化学物質についての重要な情報の概要です。

労働安全衛生局(OSHA)危険有害性の周知基準(HCS)は、HCSに記述されている基準により危険であるとされた化学薬品に、MSDSを用意するよう義務づけています。

スキンケアおよび他の商品で使用されている化学薬品について調査するのに役立つウェブサイトは、www.hazard.com/msdsです。

このウェブサイトから、SIRI(Safety Information Resources Inc安全情報供給会社)のMSDSのウェブサイトを閲覧することができます。

検索方法には3つのオプションがあります。

1. メーカー名による検索
2. 成分による検索
3. MSDSで見つからなかった化学毒性データを求めて、別のデータベースを検索

例えば、もしフェノキシエタノール Phenoxyethanol(これは多くのいわゆる「天然」スキンケア製品の防腐剤として使用されている。)に関する情報を探すために、データベース検索(オプション2)を使うと、5つの異ったMSDSファイルが見つかります。この成分中に見つかった情報の一例としては「危険物」。以下が内容です。

緊急概要

警告！飲み込むと有害。皮膚に炎症を誘発。中枢神経系の衰弱を引き起こす可能性あり。腎障害を引き起こす可能性あり。気道および消化管の障害を引き起こす可能性あり。

影響のある器官：腎臓、中枢神経系

健康への潜在的な影響

皮膚接触：高度の刺激またはやけど

目への接触：高度の刺激またはやけど

経口摂取：吐き気を伴った胃腸刺激、嘔吐、

下痢を引き起こす可能性あり。興奮状態に続いて頭痛、めまい、眠気および吐き気が見られる中枢神経系の衰弱を引き起こす可能性あり。影響が進むと、呼吸不全による失神、意識不明、昏睡、そして死に至る可能性もある。

腎不全を引き起こす可能性あり。もし、飲み込んだ場合、有害となりうる。障害は、脳、肺、肝臓、髄膜および心臓にみられる。

少しこわいと思いませんか？

動物実験データ

半数致死量(LD50)は、実験動物の50%を死亡させるのに必要な化学薬品量を示しており、動物の体重1キログラムあたりの単位で測られます。

経口、マウス：LD50=933mg/kg

経口、ネズミ：LD50 = 1260 mg/kg

皮膚吸収、ウサギ：LD50 = 5 mL/kg

皮膚吸収、ネズミ：LD50 = 14422 mg/kg

現代のスキンケアおよびパーソナルケア製品の中に含まれる多くの有毒成分に関して、その会社とは無関係な第3者独立団体から正しい情報を得ることによって、自分と家族の健康を守るための賢い判断ができるのです。